

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域からの呼びかけでお祭り、老人会の行事に参加、回覧板で地域の情報収集も行っている。散歩を兼ねてホーム周りの清掃活動を通して近所の人と挨拶を交わしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。民生委員、利用者代表、介護福祉事業者、管理者で構成され、議題は近況、行事予定などが報告されている。しかし、市町村職員、包括支援センター職員の参加がないため今後、参加を要請する必要がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所の生活保護係に計画プラン等を提出。市町村が開催する説明会に参加して同業者からも情報を得て、必要に応じて意見交換を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の面会時に意見、要望を傾聴して内容は申し送りノートに記入、全職員が確認できるようになっている。管理者への専用の連絡ノートがあり連絡もれのない体制が整っている。玄関の目に付きやすい場所に意見箱を設置している。家族向けのホーム便りを毎月発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の  
実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について  
外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の  
取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域 のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営 推進会議 を活かした 取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村 との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営 に関する 利用者、 家族等 意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念に掲げているように一人ひとりの笑顔と想いを大切にしようと、個人を尊重して日々の介護にあたっており、地域の一員として愛されるホームを目指し、お祭りなどの行事に積極的に参加している。職員間や利用者とのコミュニケーションが良好でありホーム全体の雰囲気が良く笑顔が多い。熱帯魚の飼育、毎日の散歩を兼ねた清掃活動を通して単調な日々にならないよう配慮されている。